

施策調査専門委員会の検討状況について

【第 75 回施策調査専門委員会（R8. 6. 17）】

- ＜議題＞
- 1 事業モニターチームとの連携について
 - 2 令和 9 年度以降の県民参加のあり方に対する提案書の作成について
 - 3 令和 7 年度モニタリング調査結果について

＜主な意見等（要旨）＞

【議題 1 事業モニターチームとの連携について】

- 令和 8 年度第 1 回事業モニターに向け、ストーリーについては、事業現場の状況に加え、県全体の状況や施策開始当時の想定、これまでの知見で分かったことなどを含めた内容に資料修正する。また、県民会議で設定した指標に関する情報も追加する。
- 今後を見据え、事業評価シートの内容も必要に応じ見直しの検討が必要。
- 事業モニターを実施する前に事前の検討会議を行う。有識者委員からは土屋委員、五味委員、羽澄委員を当日参加する候補者として選出。

（主な意見）

- 針広混交林化がうまくいっているところ、あるいは柵がないことでうまくいかなかったなど、うまくいかなかったポイントを押さえて説明いただくことが必要。
- 事業評価シートについて、対策が必要な場所がどの程度あり、そのうち何割が現時点でうまくいっているかなど、全体が見えない状態で評価シートを作成することが困難であった。事業全体の中でどういう状況かという視点の資料が欲しい。
- この 20 年でどこまでできたかを評価し、次の 20 年に引き継ぐものにするとしたら、事業モニターの枠組みの中でもそれに寄与するような議論が必要。
- アウトカムを直接示す指標が本日の資料には入っていないため、最終評価報告書（暫定版）から該当する情報を入れ込む必要がある。
- 大枠の 11 の取組とモニターする現場の間をつなぐ補助資料や補助的な情報がもう少し欲しい。
- 森林の密度変化について、神奈川県レベルでは密度がかなり減っているのに、過密林分の減少という観点では、事業としてかなり成功している事例だと思う。
- 実際に各事業地を見ると、うまくいったところとそうでないところで、いろいろな差が出てくると思う。これまでのモニタリング結果や研究により得られた知見などもストーリーに載せられるとよい。
- 事業モニターにおける起承転結、これもストーリーの 1 つのあり方かと思う。起と承はこれまでの 20 年間の成果など、同じようなテンプレートになってくると思うが、転につないでいくところをどのように地域ごとに即した形でまとめられるのかが重要なところ。そうしたストーリー立ての構造を考えていくことも重要。

- 県全体で同じような箇所がどの程度あるかといったデータも併せて提示いただき、課題がある箇所をモニターすることで、より今後の施策に反映できるような評価結果が導き出せると感じた。
- 特定の現場に入るが、その情報だけではなく、事業全体、県全体でどういう状況、どういう変化があったかという情報を入れていただきたい。
- シカ対策としての保護柵に関する情報が、資料内に出てくるとよい。
- 仮説が最初にあり、対策を取った結果、森林の状況が変わってきている。現在までの結果が予想どおりだったところも多くあると思うが、予想と違っていた部分も実際あると感じた。仮説からスタートして検証してという部分があると、事業モニターチームが現場に入ってモニターした結果が、順応的管理ということで事業全体に返ってくると思う。

【議題2 令和9年度以降の県民参加のあり方に対する提案書の作成について】

- 全体の構成に関して、構成自体はこれでいいと思うが、各セクションの見出しが内容と少しずれているため修正が必要。
- ウェルビーイングの視点を入れるのは賛成だが、メインの指標にはしないほうがよい。施策の広がりを考える上では重要な視点かと思うので、具体的な指標というよりも、施策のベースにこういった視点を入れるくらいがよいのではないかと思う。
- 市町村との連携について、重要と考えるため、もう少し補足したほうがよい。
- 今回の提案はあくまでも現委員の提案である。引継書との重複はあるかもしれないが、次期委員に替わったときに、改めてその必要性や状況を踏まえながら考えていくというような立てつけにしておいたほうがよい。
- 総会での議論の活性化、公募委員のあり方、事業モニターや市民事業のあり方、市町村との関係などが今後の検討課題となる。市町村との関係については、県民会議との間にほとんどコミュニケーションがなかったので、実務者でいいと思うので、そうした機会を作れるとよい。
- 参考資料について、神奈川県以外の情報（国の資料や一般書、学術書など）も含めた形にしておくほうが、客観的に説得力がある。
- 本日の議論を踏まえ、提案書を修正の上、次回施策懇談会や県民会議で確認を行い、8月に県へ提出する。（四者協議会などでの検討までは不要とした。）

【議題3 令和7年度モニタリング調査結果について】

- 県から令和7年度に実施した以下のモニタリング調査結果等について報告があり、内容について確認を行った。
 - ・ 森林のモニタリング調査結果（対照流域法調査、森林生態系効果把握調査）
 - ・ 河川のモニタリング調査結果（動植物等調査、県民参加型調査、環境DNA調査）
 - ・ 航空レーザ計測及び森林資源解析